

モデル地域の概要(新潟県佐渡市)

地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡への観光入込み客数は、平成3年の 121 万人をピークに減少し、この間、新潟県中越地震や中越沖地震による影響などで、平成19年には、60万5千人とピーク時の半分にまで落ち込んでいる。 ○ その原因として、人々のライフスタイルや価値観の変化による団体旅行から個人旅行への変化に対応出来なかったこと、経済距離の長さからくるハンディを克服するような佐渡ならではの「スペシャリティ」を打ち出せなかったことなどが考えられる。 ○ また、平成16年3月に佐渡市として合併するまでは、全島あげて一丸となった観光客へのサービス、情報発信が行われてこなかったことも大きな要因として考えられる。 ○ このことから、佐渡に存在する豊かな自然や薫り高い文化など多くの観光資源を有効に活用し、旅行商品の造成や効果的な誘客施策を展開できるプロデュース能力が求められている。
「観光地域プロデューサー」を必要とする理由	<ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡市は、平成16年3月1日に1市7町2村が合併し誕生した。 ○ その後、18年4月に町村会内にあった佐渡観光協会と旧市町村単位にあった観光協会が合併し、その1年後、社団法人化、旅行業第3種の取得を図り、着地型旅行の推進に取り組んでいる。 ○ このような中で地域の観光資源を生かした着地型旅行商品の充実を図るための専門の人材が必要とされている。また平成20年秋にトキの試験放鳥が予定され、環境の島としてエコツーリズムの推進についても人材が必要とされている。
「観光地域プロデューサー」が行う業務	<p>(方向性) 佐渡市は、現在、トキの野生復帰と佐渡金銀山の世界遺産登録を目指しておりこれらに關係する観光資源を最大限に活用する。</p> <p>(観光資源) トキと豊かな自然、佐渡金山関連遺跡、金山に關連する能樂やその他の伝統文化</p> <p>(關係者) 佐渡市(観光課、環境課、教育委員会)、新潟県(佐渡地域振興局)、観光關連業界關係者、トキ關連の活動を行っているNPO団体等</p> <p>(ビジョン) 佐渡での着地型旅行の商品化は始まったばかりである。今後、トキ關連や佐渡金銀山關連の資源を活用した魅力ある旅行商品とエコツーリズムを推進することにより佐渡への観光客の増加を図り、観光振興による佐渡の発展を図る。</p> <p>(役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐渡の観光資源の把握 ・ 上記を活用した着地型旅行商品の開発 ・ 地域において展開されている各種の観光關連事業の観光誘客への活用策の検討
選考方法	書類審査、理事長他協会役員の面接による。
「観光地域プロデューサー」の配属先	(社)佐渡観光協会 〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊353番地 佐渡汽船両津港ターミナル内

給与の支払者	(社)佐渡観光協会
給与等の額	日給 1日 9,000円
勤務形態、就業時間等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1週間について40時間、週5日間制 ○ 午前8時30分～午後5時15分週休日・休日 ○ 日曜日及び土曜日は、週休日とする。国民の祝日に関する法律の規定する祝日及び1月2日同月3日、及び12月29日から12月31日までは休日とする。
雇用期間	平成20年10月～平成21年3月、その後1年ごとに延長することができる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 配属先における指揮命令系統 理事長 - 事務局長 - 「観光地域プロデューサー」 ○ サポート体制 佐渡観光協会ならびに佐渡市観光課によるサポート体制を行う。